

## 利用者マップ（仮称）の骨子（案）

### （１）作成目的

知床国立公園の利用者（ガイドや関係事業者を含む）に対し、中央部地区の利用適正化にあたり実施にうつした対策の周知や利用適正化の趣旨・目的、検討中の利用ルール、地域の現況等を広報・周知するためのマップ（パンフレット）を作成し、対策の効率的実施に資する。

### （２）作成地域

- ① 知床五湖地域
- ② 羅臼湖地域
- ③ 知床連山地域

### （３）利用者マップ（仮称）の内容及び体裁

体裁のイメージは、「資料-2 別添」を参照。以下の点に留意して作成。

#### ① 記述項目

- ・ 対象地域の自然とその魅力の紹介
- ・ 対象地域の一般的記述事項
- ・ 対象地域の重点的記述事項
- ・ アクセス方法
- ・ 場所ごとの注意を書き込んだ地形図
- ・ 連絡先、現地情報収集先

#### ② 記述の基本的姿勢

基本的には「利用の心得」の内容に沿って記述。

- ・ 利用者に、自然環境保全を図りつつ、安全に価値ある自然を体験してもらうことを一番の目的とする。
- ・ 適正な公園利用が自然環境の保全につながることを明記する。
- ・ 心得が「安全」と「自然環境保全」のどちらの目的を持つものか、明確に区別する。
- ・ 記述内容を多くし、読み応えのあるものとする。
- ・ 地形図は、実際に現地で使いやすい・使えるものとする。
- ・ 地形図上には、法的区分及び禁止行為も明記する。

#### ③ サイズ・体裁等

- ・ 情報量及び携帯性を考慮し、大きさはA3版両面とする。
- ・ 文字数を多くし、箇条書きの内容を充実させる。
- ・ 箇条書きの一段階上の各項目を目立たせることにより、必要な項目を探しやすくする。
- ・ 箇条書きは、チェックリストとして使用可能にする。

#### ④ その他

- ・ 自然保護官が必要に応じて職場のパソコンで簡単に改定できるよう一般的なソフトウェアを用いて編集可能な様式とする。（今回はマイクロソフト社のワードで編集）

#### (4) 各地域ごとの重点的記述事項

##### ① 知床五湖

###### i) 対象者

- ・ 一般観光客。
- ・ ガイドが客にルールを説明する際に使いやすいものとする。

###### ii) 重点的記述事項

- ・ 過剰利用の実態
- ・ 歩道の拡幅をなくすために
- ・ ショートカット禁止
- ・ ヒグマ対策（対策の紹介/注意点（遭遇時の簡単な対策・飲食の危険性等））
- ・ 高架木道の紹介（意義/景色の良さ）

##### ② 羅臼湖

###### i) 対象者

- ・ 近年増加している一般観光客及びトレッキング客
- ・ ガイドが客にルールを説明する際に使いやすいものとする。

###### ii) 重点的記述事項

- ・ 植生へのダメージ（長靴のお願い）
- ・ 特に残雪期に大変迷いやすいことを記述。
- ・ ヒグマ対策（ヒグマ高密度生息地の自覚/遭遇時の対策）
- ・ 装備/服装
- ・ アクセス方法

##### ③ 知床連山

###### i) 対象者

- ・ 登山客

###### ii) 重点的記述事項

- ・ 植生へのダメージ/登山道付け替え
- ・ ヒグマ対策（遭遇時の対策/ヒグマ高密度生息地の自覚/野営場での対策・マナー）
- ・ トイレ対策
- ・ 雪渓等の危険箇所の注意
- ・ 登山道ルート of 難易度（羅臼側とウトロ側、連山縦走の違い）

#### (5) 今後の作成予定

- |    |       |             |
|----|-------|-------------|
| 2月 | 次回検討会 | 各地域の「素案」の検討 |
| 3月 |       | 「案」の提示      |
| 4月 |       | 「最終案」を提示    |
| 5月 |       | 発行          |